

2020年10月 湘南・沖縄部エクステンション委員会発行

浅羽俊一郎ワイズ（東京山手クラブ）からワイズドットコムで「つながりマスク」の提案があったのが4月13日でした。湘南・沖縄部のエクステンション委員会の有志で直ちに検討開始。5/5には「つながりマスク」に参加しませんか！今日からスタートします。湘南・沖縄部の中でまとまって推進出来れば！と考えています。と呼びかけました。皆様が作って下さった枚数も最初の贈呈時（7/7）に300枚そして今回（9/30）は700枚！なんと素晴らしい事でしょう！マスクを作って下さる協力者も当初の8名から今や20名！会員以外の方が7名（メネットを含む）感謝！感謝！贈呈先も横浜YMCAの皆様のご協力で横浜中央Y・湘南とつか・Y.厚木Y・川崎Y・つるみY等々のYMCA 関連先、横浜寿町、北海道、宮城県山元町、等々多方面にわたっています。今回、「つながりニュース」を作りました。これはつながり仲間の壁新聞、瓦版です。お互いに顔を知らない人も増えて来ました。情報交換の場として利用して下さい。発行は不定期ですが寄稿して頂ければいつでも発行します。安全のために、はなれていても私たちはつながっています。

エクステンション委員長 辻 剛

目に見えないウイルスに翻弄される日々にあって、企画、準備、制作、お届けまでの一連の働きを皆で力を合わせました。マスク作りを通して、地域の人達と、クラブの枠を越えて活動に共感する同士が会ってつながって行く・・・。「人のつながり」の絆の深まりを感じ、新たな大きな喜びを感じました。 横浜クラブ 古賀健一郎



年を取って手先がきかなくなり、数多くは作れませんが、マスクを使ってくださる方や、お子さんを想像しながら一生懸命作りました。

つづきクラブ 辻 孝子

つながりマスクのお話を聞き喜んで参加させて頂きました。マスクをたくさんは作れませんが一枚ずつ使って下さる方の健康をお祈りしながら作っています。

つづきクラブ 鈴木恭子

私とつかクラブ所属ですが住まいが東京なので例会出席は皆様に迷惑と思い控えておりました。そんなお同ジクラブの人より他の用事で〆あり、初めてつながりマスクの事を知りました。例会に出席出来ない代わりにマスクなら協力出来ると思い作り始めました。たかがマスクでも思ったより大変でしたが・・・どんな方が付けてくれるかな？気に入ってくれるかな？と思いながらの制作でした。まだまだコロナ騒ぎ収まらないと思いますが早く落ち着いた生活ができる事を祈っております。

とつかクラブ 鈴木 ひろ子

農協の月刊誌「家の光」に手作りマスクの型紙がありました。それを参考に今回マスクを作りました。同ジクラブの鈴木さんに型紙を送ってお願いしましたら、なんと120枚以上作って下さいました。「たかいマスクよ～」とマッサージにかかりながら作ったそうです。鈴木さんは、とつかで一人東京から参加されているので、コロナの関係で例会にはしばらく欠席です。皆さんにマスクで参加していると伝えて！との事でした。「家の光」記事活用体験で今回のつながりマスクの件、お話ししたら優秀賞を頂きました。 とつかクラブ 吉原和子

マスクをたくさん作るお手伝いをさせて頂く世の中が来るとは夢にも思いませんでした。針と糸、はさみから縁遠くなった昨今でしたので、ミシンは役に立たなくなっていたり、手際が悪くなっていたりと、思っていた以上に大変な作業でした。マスクは今やファッションの一部となりつつあり、企業も力を入れる製品のひとつとなっているようです。これはコロナの悪い置き土産でしたと言われ、このファッション化したマスクが早くなり、マスクなしでも自由に歩け、密でも会話のできる世の中に戻ってほしいものです。マスク作り二回目参加の今回は、布の買い物から同行させて頂きました。この経験を個人的にも生かし、関わっている他の施設にも送ってあげられたら、と考えております。

つるみクラブ 吉本 正子 松井美津子

手づくりマスクの仲間

私のできることがあることで、連帯感が生まれ嬉しいです。

厚木クラブ 徳澤洋子

佐藤さんからマスク作りのお手伝いを頼まれて、仲間と一緒に楽しく、おしゃべりをしながら手分けして製作した布マスクを気持ちよく使って頂けたら嬉しいです。一日も早いコロナウィルス感染が終息する事を願っています。

山崎裕子

仲間を引き寄せられました

このコロナ禍でのマスク不足で久しぶりに針と糸を持ち出しチクチクと自分用のマスクを作りました。もういっぱい出来たから大丈夫と思ったので、このところ遠のいておりました。そんな所へ佐藤さんからマスク作りのお手伝いの声がかかり、その時間がとても楽しく、コロナで鬱々としていた気持ちがとても癒やされました。早くコロナが終息し、前のように心おきなくお友達とおしゃべりし、笑い合える日々が来るよう願っています。

小野塚由美子

大事故にはならなくてよかったのですがひさしぶりのミシンを壊してしまった方もいました。マスク一枚縫うのに10分から30分かかります。自粛期間は店頭には素材の布も耳ゴムも無くなりました。老眼で針の穴も糸目も見えないのに皆さん苦労して作っていただきました。本当にありがとうございました。

でもYMCAの留学生がマスクを手に満面の笑みを浮かべている写真を見て、すべては吹っ飛びました。留学生とつながったような気がいたしました。マスクなんかいくらでも買えるこの頃ですが、災いをファッションに代えて楽しむ力は生きる力だと思います。

厚木クラブ 日下部 美幸

前回のマスク作りは、つるみクラブ単独で、お世話になっている活動場所に寄付しました。今回は「つながりマスク」に参加させて頂きました。布の買い出し、型紙取り、裁断、ミシン掛け、消毒、袋詰めまで、クラブの仲間とできた事が、コロナ禍で活動ができない時期を、つるみクラブとしては有意義に活動できました。「つながりマスク」に参加できた事に感謝しております。

つるみクラブ 中村純子



思いを伝えたい

新型コロナ感染という思いがけない出来事に遭遇。その拡大感染防止の為につながり手作りマスクを企画したスタッフの皆様感謝申し上げます。友人二人にお手伝いをお願いしました。仲間が増えました。「私はミシン掛けね」「糸の始末はまかせて」「最後のアイロン掛けは私」得意分野が自然とできて、作業半分おしゃべり半分、仕上げはお菓子とお茶タイムに、ワイワイと笑い声の花も添えて楽しく合作しました。疲れたけど、微力ながら、少しでもお役に立てられる事に喜びを感じています。

厚木クラブ 佐藤節子

何も出来ない時だからこそ！と始めたつながりマスクプロジェクト！4月5月と何も仕事ができなかった時期、私はマスク作りに精を出すことで、コロナの不安感からも救われました。作っている事で、離れていても皆様と繋がっている安心感で過ごすことが出来ました。湘南・沖縄部のクラブを超えてのプロジェクト、第1回目は316枚今回の2回目は600枚を超えるマスクが集まりました。皆様の崇高な意識に敬服しつつ、素晴らしい仲間にも恵まれた事に感謝しています。

鎌倉クラブ 千葉裕子